

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	地域療育支援事業所 第2はまゆう療育園 (児童発達支援)			
○保護者評価実施期間	令和6年10月1日 ~ 令和6年12月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数)	25名
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日 ~ 令和6年12月14日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士及び作業療法士を配置しており、より専門的な療育支援が提供出来ている。	こどもが療育課題（1時間）に集中して取り組めるよう、こどもの特性（注意散漫など）を考慮して極力掲示物や装飾品などを控えた環境作りに配慮している。	保護者支援として、相談は療育中のほかにも療育時間外も相談支援が出来る体制をとっている。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育中に、（地域の）子どもとの交流（活動）機会を持つことが難しい。	個別療育（1時間）のため、交流（活動）に充てる時間がとれない。	注意散漫な子どもの特性があり、課題に集中して取り組むためには個別療育のほうが効果的でもある。但し社会性の求めがあれば、集団療育の他事業所との併用利用も可能な為促していきたい。
2	保護者会の開催	・保護者は子どもが障がい児者施設に通っていることを他に知られたくない気持ちがある。 ・個別療育（1時間）は利用者どうしの時間が重ならないため全く交流がない。 ・親の仕事の都合が合わない	保護者からの要望があった場合に、検討したい
3			